32 巻 3 号　（ 2027.2.10 頃発売予定 発行 12,000部 約 100 ページ B5判 ）

整形外科看護専門誌

整形外科看護　2027.3月号

年代・背景別のかかわりがわかる！

整形外科患者へのメンタルケア（仮）

プランナー：大谷晃司 福島県立医科大学医療人育成・支援センター長/
医学部（臨床医学系）整形外科学講座 教授

特　集

整形外科患者は生命予後が良好である一方、術後の生活や仕事、スポーツ、家庭での役割など、「これからの人生」に対する大きな不安を抱えています。そのため、看護師には身体的ケアだけでなく、一人ひとりの背景に応じた心理的支援が求められます。本特集では、年代や生活背景によって異なる心理状況を整理するとともに、実際の事例を通して「どのような言葉かけやかかわりが患者の力になるのか」を具体的に解説します。“その人らしい回復を支えるコミュニケーションやメンタルケアの実践”につながる構成とし、明日からの臨床に生かせる内容です。

Part1. 総論

特集1	整形外科で手術を受ける患者さんの特徴	大谷晃司　福島県立医科大学 医療人育成・支援センター
特集2	整形外科で手術を受ける患者さんの家族への説明と心理的サポート	岩渕真澄　福島県立医科大学会津医療センター 整形外科

Part2. 各論

特集3	事例①：「もう歩けないかもしれない」と落ち込む高齢患者	川前恵史　会津中央病院 外傷再建センター
特集4	事例②：「退院してからどうしよう……」と不安をもらす患者	小林 洋　福島県立医科大学 整形外科
特集5	事例③：「復帰しても同じパフォーマンスが出せるのか」と悩むスポーツ選手	加藤欽志　福島県立医科大学 整形外科
特集6	事例④：「いつ仕事に戻れるのか」と焦る働き盛り世代	渡邉和之　福島県立医科大学 整形外科
特集7	事例⑤：「もう趣味は楽しめないのか」と嘆く人工関節置換術を受ける患者	新田夢鷹　福島県立医科大学会津医療センター 整形外科
特集8	事例⑥：「人前に出たくない」と落ち込むボディイメージが変わった患者	佐藤俊介　福島県立医科大学 整形外科
特集9	事例⑦：「今もまだ痛い」と治癒したはずの痛みが長引いている患者	二階堂琢也　総合南東北病院 整形外科
特集10	事例⑧：再発や生命の危機に瀕する骨軟部腫瘍の患者	箱崎道之　福島県立医科大学 整形外科

連載

「THA今昔物語」

「病棟から地域包括ケアまで　多職種連携のコツ　全部教えます！」

読者ターゲット　整形外科のナース、研修医、周辺スタッフ

ADポイント　外転枕、サポーター、コルセット、ニーブレイスなどの装具や、整形外科領域のケア製品に対する問い合わせが多く寄せられます。そのほか、患者さんの生活を支えるグッズ（ギプス装着中のシャワーカバーなど）や薬剤についても要望があり、読者である看護師は、ケア製品・薬剤に高い関心を持っています。

広告締切　申込締切日：2026.12.16　版下出版社必着：4C 2026.12.16　1C 2027.1.6　綴込 2027.1.12

広告料（税抜き）

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ（mm）
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事中※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事中	1色	1頁	80,000	220×150
記事中	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がりに天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります（記事中カラーのみ対応）。

取扱い広告代理店

株式会社メディカ・アド
〒105-0013
東京都港区浜松町1-12-9 第1長谷川ビル2F
TEL：03-5776-1853 FAX：03-5776-1854
担当：営業部

●広告原稿は完全データでお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。
●入稿の際は、広告データ、出力見本（確認用PDF）をご準備ください。
●広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。
●企画内容が変更になる場合があります。